

グループホームハートケアライフ八軒 運営推進会議議事録

<平成27年度 第2運営推進会議>

[日 時] 平成27年 6月10日(水) 13:30~14:30

[会 場] GH ハートケアライフ八軒 2F 居間・食堂スペース

[出席者] 11名

- ・ 西区第一地域包括支援センター
松本 正 (副センター長・社会福祉士)
- ・ 地域住民の代表
川井 久美子 (地区民生委員)
長谷川 寛 (はちけん地区センター館長)
佐藤 八千代 (西八軒町内会 福祉厚生部長)
- ・ 札幌市西消防署 予防課防火推進係
三浦 広光 (消防司令補)
- ・ グループホーム運営事業所
三浦 浩美 (代表者)
一條 英子 (1F 管理者)
佐々木 るみ (1F 介護職員)
神原 陽子 (2F 管理者)
木村 達也 (2F 計画作成担当者)
西田 美苗 (2F 介護職員)

[会議内容]

1、自主避難訓練の講評

会議に先駆けて13:10から、三浦消防司令補の立会いのもと行なわれた避難訓練の講評を頂きました。

(三浦消防司令補)

訓練の様子を見させて頂き総合的には大変良かったが、今後の訓練に向けて何点かお話しします。1階・2階の職員の連携は良く、避難の後部屋を確認していたのも良かった。<改善点>

- ① 何処に人がいるか分からないので、トイレ・浴室も確認したほうがよい。
- ② 初期消火時の消火器の扱いに手間取っていたので、大きな声で「火事だ！」と叫びながら素早く火点に行く。
- ③ 近所の方役も建物内にいたが、実際の火災の時は建物には入らず、外で避難をした入居者の見守りに当たって頂く。消防団は、消防署員と同じなので中に入ります。
- ④ 予め入居者の簡単な名簿を備えておき、避難した人をチェックして消防隊に伝えると何人残っていて救助が必要か、すぐに伝えられる。
- ⑤ 部屋やトイレなど避難後確認したら付箋を貼るなどすると、同じ場所を何度も見る無駄がない。

⑥ 設備業者にも立ち会ってもらい実際に火災報知器を鳴らすと、より実践的な訓練ができる。

また、西区でも高齢者施設・障害者施設が多くなり、避難訓練の派遣要望が多くなっており署員が対応しきれないので、今後の訓練については自主訓練を行ない、2年に1回程度、成果を確認するために派遣依頼をして欲しい。

以上のお話があり、業務のため帰署されました。

2、入居者の状況報告と行事報告

今回の会議には、長谷川副センター長様、松本館長様、佐藤様が初めて参加して下さいましたので参加者の紹介の後、資料により、1階・2階の管理者から入居者状況と行事報告をしました。

3、質疑応答

(佐藤様) 消火器の訓練に参加したが、なかなか難しかった。容量はどのくらいあるのでしょうか。

<ホームの消火器で確認しました。>

(長谷川様) 1階と2階を分けた形で運営されているのですか？

<ホーム代表者から説明をしました。>

(松本様) 災害時には近所の方の協力がとても重要で、避難時の協力は是非必要です。

(川井様) この町内には「千田会館」があり、避難所としていつでも使え、井戸もあるので水の心配もありません。餅つきやお神輿などの地域行事も盛んで、協力体制があります。

(ホーム) 中学生の「職業体験学習」、八軒小・八軒西小のミニ児童館児童との交流が定期的にあります。

(長谷川様) 「うたの会」などにいつも参加して頂いています。11月に毎年恒例のコンサートがあるのでご案内します。

(川井様) このコンサートは、内容も良くとっても楽しいので、是非参加されるとよいと思います。

<入居者の方をお連れして楽しんで頂く予定としました。>

4、代表者より

ホームを開設してから9年目に入っています。入居者の状況も当初より重くなる傾向にあります。入居者との関わりの中で、催しやレクを職員が入居者に喜んでもらえる内容を考えて行なってくれています。職員の工夫や実行力に感謝しています。このような会議を通して、地域の方に知って頂けることを大変有難く思っています。今後とも、ご協力をお願い致します。

5、次回運営推進会議の開催予定

次回「平成27年度第3回運営推進会議」を8月19日(水)12:00からと予定しました。

以 上